山行報告書

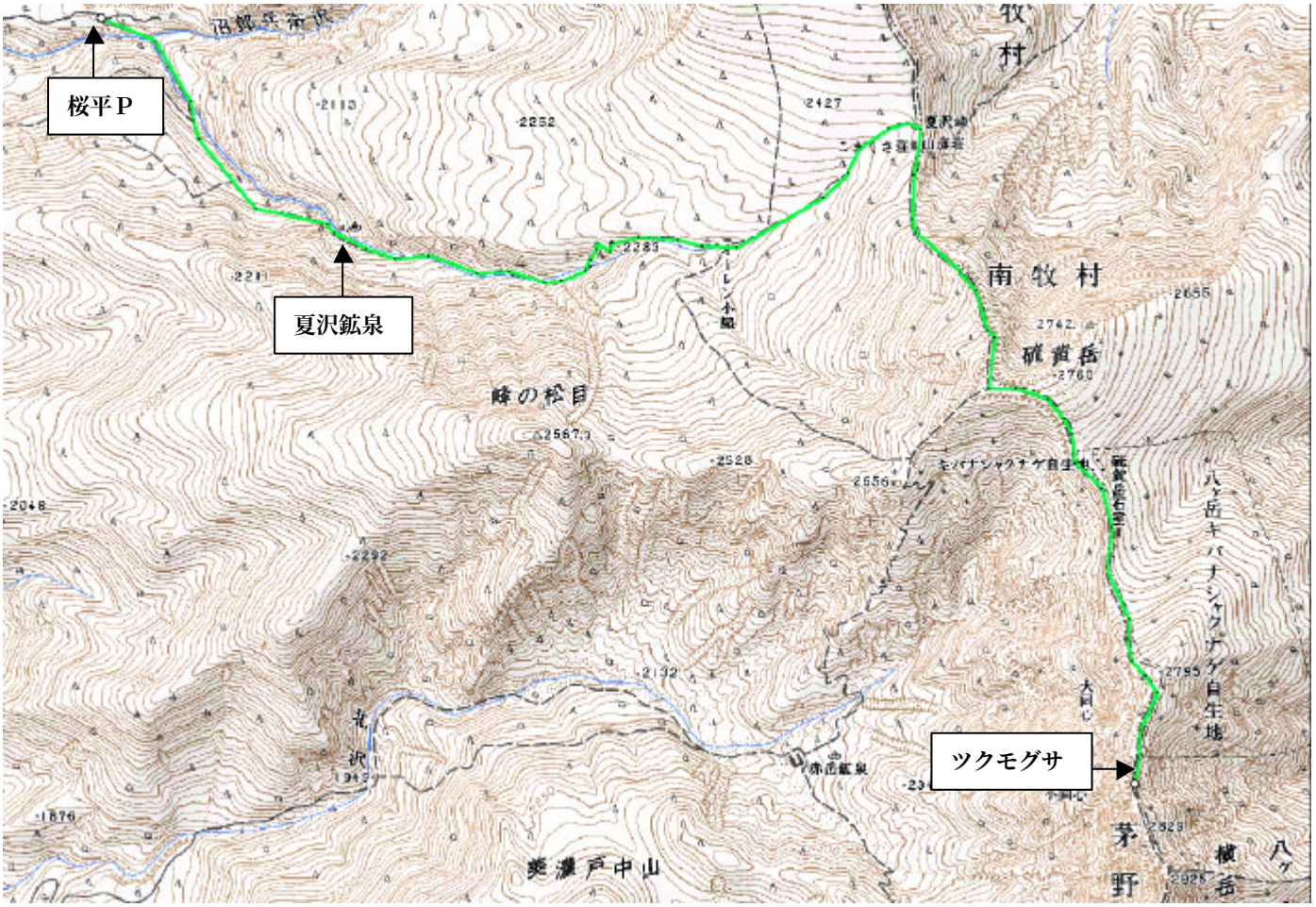
報告書作成　平成１５年６月２５日

山名(山域)	横岳(八ケ岳)	目的と方法	お花見山行(ツクモグサ)
登山期間	６月１５日(日)	山行形態	前夜発日帰り　ピストン
メンバー	ＣＬ　金原　　ＳＬ会計　宮城　　記録　阿部		

行動記録

６月１４日	岩津市民ホーム（１４：００）＝桜平Ｐ（１８：３０）
６月１５日	桜平登山口（５：４０）－オーレン小屋（７：１０）－夏沢峠（７：３０）－硫黄岳頂上（８：４０）－横岳主峰５０㍍手前（９：３０）－硫黄岳頂上（１１：００）－オーレン小屋（１２：１０）－桜平登口（１４：１０）＝三井の森探索＝縄文の湯＝岡崎（２０：１５）

概念図



日誌

梅雨の晴れ間をねらって本州では白馬岳と八ケ岳でしか見られないというツクモグサの花見山行に出掛けた。残念ながら晴れ間とはいかなかったが花の撮影日和であった。

前日に桜平で夜を明かすが、きれいに整備された駐車場なのだがトイレがないのが残念！と思っていたところゲートから１００㍍程はいり川を渡った所に仮説トイレがあった。八ケ岳の山小屋のトイレが水洗化され自然環境にやさしいシステムが導入されていくなかで、山でのトイレ問題を一番に考えなければならない立場であるのが登山者だということを感じた。オーレン小屋のトイレは長居のしたくなる快適な所だった事も付け加えておこう！

夏沢峠をすぎハイマツとキバナシャクナゲの自生地辺りになると風が強くなり、岩にへばりつく様に咲くイワウメの群落に歓声をあげ写真撮影となるが強風にカメラを持つ手も震えてしまう。「さむい、さむい」と言いながら次々にあらわれる花々にカメラをむけながら進むが、お目当てのツクモグサを発見した地点で引き返す。

ツクモグサが咲く頃は他の花の時期には早いと思っていたので、イワウメ、イワヒゲ、ミヤマキンバイ、オヤマノエンドウ、ウルップソウ、チョウノスケソウ、ハクサンイチゲなどのお花畑に感激した。

ワクワク、ドキドキ、ブルブルの稜線歩きが楽しめた。